

元気な子どもの声がきこえるまち

矢祭もったいない図書館

令和8年度



「矢祭町子ども読書の街・人づくり宣言」

- ① 読書を通じて語り合い、家族のきずなをふかめます。
- ② 故郷をあいし、いのちをいつくしむ、こころ豊かなこどもたちをそだてます。
- ③ 本の力で、未来にはばたく子どもたちの、夢と希望をはぐくむまちをつくります。



(平成21年12月19日矢祭町子ども読書の街・ひとづくり推進大会にて採択された。)

『矢祭もったいない図書館の概要』

☆所在地 〒963-5118

福島県東白川郡矢祭町大字東館字石田25番地

Tel 0247-46-4646

Fax 0247-57-7500

ホームページ <http://www.mottainai-toshokan.com/>

メールアドレス mottainai@educet01.plala.or.jp

☆施設 開架一般閲覧室432㎡ ・

閉架書庫棟1階373,36㎡ ・ 2階272,75㎡

☆事業費 3億3564万8000円

図書館1億1,943万0,000円、閉架書庫2億1,621万8,000円

☆開館日 2007年(平成19年)1月14日



☆蔵書数 484,444冊 (令和8年3月末)

もったいない図書館

開架書庫 72,000冊 ・ 閉架書庫400,000冊

もったいない文庫(地区集会所・公民館) 23ヶ所 3,800冊

事業所(東館診療所/ユープル矢祭/ユアアイホームほか) 12ヶ所 7,900冊

キャラバンカー(移動図書) 650冊

《 沿革 》

☆2005年(平成17年)

- 12月 矢祭町第3次総合計画による町民のアンケート結果から、「町立図書館の開設」という要望が大多数寄せられた。

☆2006年(平成18年)

- 5月 福島市にて「日本一のふるさとを作る会」の例会の際に、町職員が「図書館づくりに関する取り組みについて」講演したところ、出席していた毎日新聞社福島支局長から「もったいない運動」キャンペーンの一環として、町への図書寄贈が提案された。
- 7月 武道館を地域開放型交流施設として改築、「新しい図書館づくり」が着工される。
まちづくり委員、行政サポーターによる図書館開設の検討会開催



「もったいない運動キャンペーン」の一環として、図書の寄贈を提案したことが毎日新聞全国版に掲載され、寄贈図書が送られてくるようになった。
(図書の整理は町民ボランティア) (P20 参照)

☆2007年(平成19年1月 9日 管理運営委員会発足)

- 1月14日 **「矢祭もったいない図書館」開館オープン** 寄贈冊数294, 152冊
町の委託事業により「矢祭もったいない図書館管理運営委員会」の運営が開始される。
- 5月25日 **新規登録者1,000人達成**
- 8月 寄贈冊数40万冊を超過したため、寄贈本の受入停止を決定
- 10月 3日 **来館者10,000人達成**
- 10月28日 **「矢祭もったいない文庫」25ヶ所が開設。**
(各地区の集会所・公民館・老人福祉センターなど)
- 11月 ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2007 優良図書館「優秀賞」受賞

☆2008年(平成20年) 2月 「矢祭もったいない図書館」1周年記念講演会の開催

☆2009年(平成21年) 2月 「矢祭もったいない図書館」2周年記念行事の開催

「矢祭もったいない図書館の歌」作成

4月 東館小学校「学びの質を高める学習指導」との連携事業開催



～3年生授業支援～



～5年生授業支援～

5月 「子ども読書の街づくり」推進委員会設立

6月20日 「第1期生矢祭子ども司書講座」事業開始 14名

7月19日 来館者30,000人達成

7月23日 講談社おはなし隊キャラバンカー贈呈式



8月 「第1回手づくり絵本コンクール」事業開始

9月 学校・幼稚園等支援による読書推進事業開始

12月19日 矢祭町子ども読書の町・ふるさと人づくり推進大会開催

☆第1回手づくり絵本コンクール表彰式

☆柳田邦男さんと親子のふれあいトーク

☆2010年(平成22年)

2月20日 「第1期生矢祭子ども司書」認定式 14名

矢祭もったいない図書館子どもサポーター委嘱式

4月23日 「子ども読書活動優秀実践図書館」文部科学大臣表彰受賞

- 5月15日 「第2期生矢祭子ども司書講座」事業開始 19名
- 7月 第1回手づくり絵本コンクール最優秀作品
「シチューをもらったかえりみち」1000部製本
- 8月 「第2回手づくり絵本コンクール」事業開始
絵本ワールド in ふくしま開催
キャラバンカー活用協力(14.15日)
- 9月 講談社・もったいない図書館キャラバンカー合同おはなし会
図書寄贈者：桜の聖母短期大学 学習センター講師 佐野滋 氏
「奈良遷都1300年記念写真展」開催
- 11月 矢祭もったいない図書館「家読まつり」開催
- 12月19日 矢祭町子ども読書の町・ふるさと人づくり推進大会の開催
☆第2回手づくり絵本コンクール表彰式
☆柳田邦男さんとあべ弘士さんとのふれあいトーク
- ☆2011年(平成23年)
- 2月20日 「第2期生矢祭子ども司書」認定式 19名
矢祭もったいない図書館子どもサポーター委嘱式
- 3月11日 東日本大震災発生 (図書館1週間休館)
- 3月18日～4月5日
図書館キャラバンカーによる被災避難者支援活動
- 5月14日 「第3期生矢祭子ども司書講座」事業開始 16名
- 6月1日 「第3回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 6月18日 矢祭もったいない図書館キャラバンカーと子ども司書が、埼玉県三郷市
瑞木小学校を訪問、「がんばろう日本 読書でつなごう友情の絆」を合言葉に、
福島県広野町からの震災避難している児童の支援と、瑞木小学校児童たちとの
校児童たちとの読書交流会に参加する。



矢祭子ども司書による「素晴らしい布の絵本を使った読み語り」

- 6月29日 来館者50,000人達成
- 12月18日 第3回手づくり絵本コンクール表彰式
- ☆2012年(平成24年)
- 3月4日 「第3期生矢祭子ども司書」認定式 16名
矢祭もったいない図書館子どもサポーター委嘱式
- 6月1日 「第4回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 6月9日 「第4期生矢祭子ども司書講座」事業開始(10名)
- ☆2012年(平成24年)
- 12月9日 第4回手づくり絵本コンクール表彰式
- ☆2013年(平成25年)
- 3月3日 「第4期生矢祭子ども司書」認定式 10名
矢祭もったいない図書館子どもサポーター委嘱式
- 6月1日 「第5回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 6月9日 「第5期生矢祭子ども司書講座」事業開始 11名
- 12月7日 第5回手づくり絵本コンクール表彰式
- ☆2014年(平成26年)
- 2月14日 「第5期生矢祭町子ども司書」認定式 11名
矢祭もったいない図書館子どもサポーター委嘱式
- 6月1日 「第6回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 6月8日 「第6期生矢祭子ども司書講座」事業開始 7名
- 12月13日 第6回手づくり絵本コンクール表彰式
- ☆2015年(平成27年)
- 3月1日 「第6期生矢祭子ども司書」認定式 7名
矢祭もったいない図書館子どもサポーター委嘱式
- 6月1日 「第7回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 6月21日 「第7期生矢祭町子ども司書講座」事業開始 7名
- 12月12日 第7回手づくり絵本コンクール表彰式
- ☆2016年(平成28年)
- 2月21日 「第7期生矢祭町子ども司書」認定式 7名
矢祭もったいない図書館子どもサポーター委嘱式
- 3月31日 町の委託事業による「矢祭もったいない図書館管理運営委員会」の運営が終了となる。
- 4月1日 図書館管理運営委員会」の運営から町の運営となる。
- 6月1日 「第8回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 7月26日 「第8期生矢祭町子ども司書講座」事業開始 6名
- 11月1日 福島県教育・文化関係(社会教育関係功労施設)功績顕著な施設として、「矢祭もったいない図書館」が受賞する。
[読書通帳の利用開始](#)

12月10日 やまつりえほんフェスタ開催
もったいない図書館10周年記念式典、
第8回手づくり絵本コンクール表彰式
もったいない図書館10周年記念「本は心のふるさと」発行

☆2017年(平成29年)

2月10日 「第8期生矢祭子ども司書」認定式 6名

3月31日 乳幼児向け絵本紹介ガイドブック制作
『はじめてであう「こころ 育てのひみつ こどももおとなも
えほんでかわる』発行

監修 ノンフィクション作家 柳田邦男先生

JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美先生

5月27日 「第9期生矢祭町子ども司書講座」事業開始 13名

6月 1日 「第9回手づくり絵本コンクール」事業開始 12名

12月 9日 やまつりえほんフェスタ開催
もったいない図書館10周年記念碑除幕式
第9回手づくり絵本コンクール表彰式

☆2018年(平成30年)

2月24日 「第9期生矢祭町子ども司書」認定式 12名

5月26日 「第10期生矢祭町子ども司書講座」事業開始 5名

6月 1日 「第10回手づくり絵本コンクール」事業開始

12月 8日 やまつりえほんフェスタ開催
手づくり絵本コンクール10周年記念誌作成
手づくり絵本コンクール・子ども司書講座10周年記念講演会
講師 ノンフィクション作家 柳田邦男先生
JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美先生
第10回手づくり絵本コンクール表彰式

☆2019年(平成31年)

2月23日 「第10期生矢祭町子ども司書」認定式 5名

3月19日 第二次矢祭町子ども読書活動推進計画 令和5年度までの5か年計画完成

4月 4日 来館者10万人達成

☆2019年(令和元年)

5月26日 「第11期生矢祭町子ども司書講座」事業開始 7名

6月 1日 「第11回手づくり絵本コンクール」事業開始

12月12日 子ども読書活動推進フォーラム
1部 講演会
矢祭小学校1年生 絵本作家 あべ弘士先生
矢祭小学校6年生 ノンフィクション作家 柳田邦男先生
矢祭中学校 JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美先生

- 12月13日 子ども読書活動推進フォーラム
 2部 やまつりえほんフェスタ開催
 第11回手づくり絵本コンクール表彰式
 第11回絵本大使任命 (初回任命開始)
 :各部門最優秀賞受賞者3名 (活動1年間)

☆2020年 (令和2年)

- 2月1日 読書通帳記録機設置 (3台)
 もったいない図書館・矢祭中学校・矢祭小学校
- 2月19日 読書通帳システム運用開始
 家読ノート配布
- 2月22日 「第11期生矢祭子ども司書」認定式 7名
- 4月22日 新型コロナウイルスの感染拡大予防緊急事態宣言により休館開始
 館内貸出冊数10冊に変更 (5冊増)
 福袋形式での貸出開始
- 4月30日 もったいない図書館ホームページから絵本の紹介はじめる。
 「わたしのすきな絵本」 紹介者:佐川正一郎町長
 第1回:4月「あさになったので まどをあけますよ」
 作・絵:荒井良治 出版社:偕成社
- 5月22日 新型コロナウイルスの感染拡大予防緊急事態解除により休館終了
- 5月23日 図書館再開
 福袋形式での貸出継続
- 6月1日 「第12回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 6月20日 「第12期生矢祭子ども司書講座」事業開始 7名
- 9月30日 「第12回手づくり絵本コンクール」応募締切 応募数:251点
- 12月2日 福袋形式での貸出:100袋達成
- 12月11日 子ども読書活動推進フォーラム
 1部 講演会
 矢祭小学校3年生 絵本作家 あべ弘士先生
 矢祭小学校4年生 JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美先生
 矢祭中学校 ノンフィクション作家 柳田邦男先生
- 12月12日 子ども読書活動推進フォーラム
 2部 やまつりえほんフェスタ開催 (オンライン配信)
 第12回手づくり絵本コンクール表彰式
 第12回絵本大使任命:各部門最優秀賞受賞者2名 (活動1年間)

☆2021年 (令和3年)

- 2月20日 「第12期生矢祭子ども司書」認定式 7名
- 3月31日 第11回・第12回手づくり絵本コンクール入賞作品電子書籍完成
- 4月2日 第11回・第12回手づくり絵本コンクール入賞作品電子書籍 HP 公開

☆2021年(令和3年)

- 5月22日 「第13期生矢祭子ども司書講座」事業開始 6名
6月1日 「第13回手づくり絵本コンクール」事業開始
9月30日 「第13回手づくり絵本コンクール」応募締切 応募数：268点
10月1日 地域おこし協力隊員(読書の町コーディネーター) 1名着任
12月10日 子ども読書活動推進フォーラム
1部 講演会
矢祭小学校5年生 目白大学社会情報学科教授 宮田 学先生
矢祭小学校6年生 JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美先生
矢祭中学校 絵本作家 あべ弘士先生
読書の町づくりへの提言 ノンフィクション作家 柳田邦男先生
12月11日 子ども読書活動推進フォーラム
2部 やまつりえほんフェスタ開催(オンライン配信)
第13回手づくり絵本コンクール表彰式
第13回絵本大使任命：各部門最優秀賞受賞者2名(活動1年間)

☆2022年(令和4年)

- 1月10日 開館15周年記念式典
「読書の町矢祭宣言」、「ロゴデザインプロジェクト取組発表」
2月19日 「第13期生矢祭子ども司書」認定式 6名
4月1日 地域おこし協力隊員(読書の町コーディネーター) 1名着任(2名配置)
第13回手づくり絵本コンクール入賞作品電子書籍HP公開
4月23日 矢祭子ども読書の日 うちどくまつり開催
5月28日 もったいない図書館開館ロゴデザイン発表会
「第14期生矢祭子ども司書講座」事業開始 5名
6月1日 「第14回手づくり絵本コンクール」事業開始
9月30日 「第14回手づくり絵本コンクール」応募締切 応募数：246点
10月1日～31日 町民読書月間
12月9日 子ども読書活動推進フォーラム
1部 講演会
矢祭小学校5年生 絵本作家 あべ弘士先生
矢祭小学校6年生 JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美先生
矢祭中学校 目白大学社会情報学科教授 宮田 学先生
山野井・金沢家読会 ノンフィクション作家柳田邦男先生
12月10日 子ども読書活動推進フォーラム
2部 やまつりえほんフェスタ開催(オンライン配信)
第14回手づくり絵本コンクール表彰式・絵本大使任命式

☆2023年(令和5年)

- 1月15日 開館16周年記念事業
絵本作家かとうゆうこさん絵本原画展及びワークショップ
- 1月21日 「第14期生矢祭町子ども司書」認定式 5名
- 3月31日 第14回手づくり絵本コンクール入賞作品電子書籍HP公開
- 4月11日 「第15期生矢祭子ども司書講座」事業開始
受講生 矢祭小学校2~6年生 227名
- 4月23日 子どもの読書活動優秀実践図書館の部における文部科学大臣表彰受賞
矢祭子ども読書の日 うちどくまつり開催
- 7月1日 「第15回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 9月20日 「第15回手づくり絵本コンクール」応募締切 応募数:334点
- 10月1日~31日 町民読書月間
- 12月10日 子ども読書活動推進フォーラム
1部 講演会
矢祭小学校5年生 目白大学社会情報学科教授 宮田 学先生
矢祭小学校6年生 JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美先生
矢祭小放課後児童クラブ 絵本作家 あべ弘士先生
山野井・金沢家読会 ノンフィクション作家 柳田邦男先生
- 12月11日 子ども読書活動推進フォーラム
2部 やまつりえほんフェスタ開催
第15回手づくり絵本コンクール記念式典
「えほんのまちやまつり」えほん通りテープカット式
第15回手づくり絵本コンクール表彰式・絵本大使任命

☆2024年(令和6年)

- 1月14日 開館17周年記念事業
絵本作家 真珠まりこさんおはなしかい
- 1月19日 「第15期生矢祭子ども司書」認定式 48名
- 3月26日 第三次矢祭町子ども読書活動推進計画 令和10年度までの5年計画完成
- 3月31日 第15回手づくり絵本コンクール入賞作品電子書籍HP公開
- 4月23日 矢祭子ども読書の日 うちどくまつり開催
- 7月1日 「第16回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 9月20日 「第16回手づくり絵本コンクール」応募締切 応募数:188点
- 10月1日~31日 町民読書月間
- 10月31日 郷土資料絵本「吉岡良太夫の生涯 ~まっすぐな武士の道~」印刷製本完了
- 12月10日 子ども読書活動推進フォーラム
1部 講演会
矢祭小学校5年生 目白大学社会情報学科教授 宮田 学先生
矢祭小学校6年生 JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美先生

- 矢祭小放課後児童クラブ 絵本作家 あべ弘士先生
 山野井・金沢家読会 ノンフィクション作家 柳田邦男先生
- 12月11日 子ども読書活動推進フォーラム
 2部 やまつりえほんフェスタ開催
 第16回手づくり絵本コンクール記念式典
 読書のまち看板リニューアル・テープカット式
 茨城県との県境：2箇所
 (国道118号：茨城県大子町境、349号：茨城県常陸太田市境)
 「本がある 本が人をつなぎ 心がゆたかになるまち」
 第16回手づくり絵本コンクール表彰式・絵本大使任命

☆2025年(令和7年)

- 1月14日 開館18周年記念事業
 絵本作家 聞かせ屋。けいたろうさんおはなしかい
- 2月19日 「第16期生矢祭子ども司書」認定式 33名
- 3月31日 第15回手づくり絵本コンクール入賞作品電子書籍HP公開
- 4月23日 矢祭子ども読書の日 うちどくまつり開催
- 7月1日 「第17回手づくり絵本コンクール」事業開始
- 9月20日 「第17回手づくり絵本コンクール」応募締切 応募数：156点
- 10月1日～31日 町民読書月間
- 11月4日 第18回高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」受賞
- 12月12日 子ども読書活動推進フォーラム
 1部 講演会
 矢祭小学校5年生 目白大学社会情報学科教授 宮田 学先生
 矢祭小学校6年生 JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美先生
 一般町民 絵本作家 あべ弘士先生
 矢祭小放課後児童クラブ ノンフィクション作家 柳田邦男先生
- 12月13日 子ども読書活動推進フォーラム
 2部 やまつりえほんフェスタ開催
 第17回手づくり絵本コンクール記念式典
 第17回手づくり絵本コンクール表彰式・絵本大使任命

☆2026年(令和8年)

- 1月23日 開館19周年事業「やまつり こども えほんまつり」
 なにぬの屋 渋沢やこさん おはなしかい
- 2月16日 「第17期生矢祭子ども司書」認定式 52名
- 3月31日 第16回手づくり絵本コンクール入賞作品電子書籍HP公開
- 4月23日 矢祭子ども読書の日 うちどくまつり開催

○福島県教育・文化関係(社会教育関係功労施設)功績顕著な施設(平成28年度表彰)

団体・施設名	矢祭もったいない図書館
所在地	福島県東白川郡矢祭町大字東館字石田25番地
設立年月日	平成19年1月14日
活動状況	1 事業 読書活動推進事業 2 特色ある活動 寄贈による図書館開設、矢祭もったいない文庫、子ども司書講座、手づくり絵本コンクール、家読まつり
推薦理由	<p>○ 矢祭町もったいない図書館は、図書の寄贈を全国に呼びかけ、集まった約40万冊の寄贈図書のみで平成19年1月14日に開館し、今年で10年目を迎える。この間ボランティアによる運営や上記の特色ある活動等を行い、「読書の町矢祭宣言」の推進に大きく貢献した。寄贈図書のみでの開館は全国でも類を見ないユニークな取組であり、また、開館後の図書館運営も他の図書館の見本となるべき活動が多くある。</p> <p>○ 毎月第3日曜日を「矢祭町読書の日」に制定し、町内27箇所の地区公民館に図書を配付し、矢祭もったいない文庫を開設、各地区の文庫サポーターが貸し出しを行うという方法により、住民に身近な読書環境を整えることで町民の読書推進に貢献している。</p> <p>○ 平成21年6月1日「矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会」を設置し、子どもの読書推進のため、推進委員会が主体となり「子ども司書講座」、「手作り絵本コンクール」を開催している。</p> <p>○ 町内の4～6年生児童を対象に行われる「子ども司書講座」は、年間12回の講座で図書館での仕事やボランティア活動について学び、修了後は「読書リーダー」として、もったいない図書館での本の紹介カード作成や読み聞かせ活動などへの協力、本の貸し出し補助などを行っている。また、修了生が読書リーダーとなり、各学校の図書館活動の活性化にも寄与している。</p> <p>○ 「手作り絵本コンクール」は、昨年度実績で、一般の部85作品、家族の部90作品の応募があり、趣旨に賛同いただいたノンフィクション作家柳田邦男氏、絵本作家あべ弘士氏が最終審査員に名を連ねている。また最優秀作品は、町が作品を出版し、受賞者及び関係機関に送付し、絵本に触れる機会を増やすユニークな取組となっている。</p> <p>○ 平成23年度より「家読まつり」を開催。夏休みに家族でどれだけたくさん読書に取り組んだかを記録し、優秀な家族を表彰する取組により夏休み中の読書活動を子どものみならず、家族全員で取り組むことにより、家族の絆の醸成や電子メディア接触の抑止力につながるとともに、読書の町づくり推進へも効果的な事業となっている。</p>

・活字文化推進大賞

矢祭町(福島県東白川郡) やまつりまち

佐川 正一郎 町長

福島県の最南端に位置する矢祭町では、平成19年に全国から寄贈された本により開館した「矢祭もつたない図書館」を中心に読書活動を推進しており、同年に「読書の町矢祭宣言」「子ども読書の日」、令和3年に「読書活動の推進に関する条例」を定め、町の重要施策として取り組んでいる。

全国に先駆け平成21年にスタートした「子ども読書」制度は、全国的な広がりを見せて、現在は200を超える自治体で実施されている。矢祭町では令和5年度から小学校の教育課程に子ども読書講座カリキュラムを組み込み、全児童が子ども読書の認定を受けている。子ども読書は子ども読書推進リーダーとなり、地域の行事等で読み聞かせや本の紹介など読書のすばらしさ・楽しさを自ら発信している。

朝読・家読にも取り組んでおり、毎週水曜日の「家読の日」には、町内放送で子どもたちが家読を呼びかけ、学校にはキャラバンカーで本を配達する。町にはもつたない文庫が23カ所、本の交換スタンドが11カ所設置され、いつも傍らに本がある環境づくりに努めている。

平成21年から実施されている「手づくり絵本コンクール」は毎年全国各地から数多くの作品の応募があり、作品を披露する「手づくり絵本コンサート」は一大イベントとなっている。絵本作家の講演会など様々なイベントが行われる「矢祭もつたない図書館」を核とし、読書を基盤とした豊かな人づくり・町づくりを長年実践しており、子どもたちをはじめとする町民の生活に本が溢れている点が高く評価された。

矢祭町の横顔 地名の由来は、源義家がこの地の美しさに感動し、洞穴に弓矢を納め武運長久を祈ったという伝承による。日本有数の清流である久慈川が流れ、矢祭山や滝川溪谷など観光スポットも多数。平成の大合併時、全国に先駆け「合併しない宣言」を行ったことでも有名。

福島県の受賞団体 福島県大熊町教育委員会(第6回)

《子ども司書講座認定について》

第 1期生子ども司書講座（平成 21 年 6 月 20 日～23 年 2 月 20 日）14 名
第 2期生子ども司書講座（平成 22 年 5 月 15 日～23 年 2 月 20 日）19 名
第 3期生子ども司書講座（平成 23 年 5 月 14 日～24 年 3 月 4 日）15 名
第 4期生子ども司書講座（平成 24 年 6 月 9 日～25 年 3 月 3 日）10 名
第 5期生子ども司書講座（平成 25 年 6 月 9 日～26 年 2 月 14 日）11 名
第 6期生子ども司書講座（平成 26 年 6 月 8 日～27 年 3 月 1 日）7 名
第 7期生子ども司書講座（平成 27 年 6 月 21 日～28 年 2 月 21 日）8 名
第 8期生子ども司書講座（平成 28 年 7 月 26 日～29 年 2 月 10 日）6 名
第 9期生子ども司書講座（平成 29 年 5 月 27 日～30 年 2 月 24 日）12 名
第 10期生子ども司書講座（平成 30 年 5 月 26 日～31 年 2 月 23 日）5 名
第 11期生子ども司書講座（令和 元年 5 月 25 日～ 2 年 2 月 22 日）7 名
第 12期生子ども司書講座（令和 2 年 6 月 20 日～ 3 年 2 月 20 日）7 名
第 13期生子ども司書講座（令和 3 年 5 月 22 日～ 4 年 2 月 19 日）6 名
第 14期生子ども司書講座（令和 4 年 5 月 28 日～ 5 年 1 月 21 日）5 名
第 15期生子ども司書講座（令和 5 年 4 月 11 日～ 6 年 2 月 19 日）48 名
第 16期生子ども司書講座（令和 6 年 4 月 11 日～ 7 年 2 月 19 日）33 名
第 17期生子ども司書講座（令和 7 年 4 月 16 日～ 8 年 2 月 16 日）52 名
認定者：256名

《学校との連携による読書活動推進事業について》

☆矢祭もったいない図書館の蔵書や学校図書室の蔵書の有効活用により、矢祭小・中学校の読書環境の整備を図る。

☆矢祭もったいない図書館との連携・協力により、矢祭小・中学校図書室運営の充実を図り児童生徒が主体的に学習を進めるための環境整備を図る。

《「矢祭町読書の日」について》

☆令和3年12月10日に制定された「矢祭町読書活動の推進に関する条例」により

- ・令和4年1月10日「読書の町矢祭」を宣言した。
- ・毎月第3日曜日は「矢祭町読書の日」と定め「もったいない文庫」を開館する。
- ・毎年10月を「町民読書活動月間」とする。
- ・毎年4月23日を「矢祭子ども読書の日」とする。



読書の町矢祭宣言

私たちは、先人から^{うけたきょうど}享けた郷土・矢祭町を将来にわたって子々孫々に引き継ぐために、町民一人一人が郷土を愛し豊かな文化的教養を培い、書物に親しみ、問題解決を書物と相談する気風を育てることにある。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力、創造力を育みます。

家庭と地域に読書の輪を広げ、心豊かな人生を育む読書の町を目指し、ここに「読書の町矢祭」を宣言する。

記

- 1 わたしたちは、毎月第3日曜日を「矢祭読書の日」とし、読書の輪を広めます。
- 2 わたしたちは、乳幼児期から絵本を通し、本が身近に感じられるように取組みます。
- 3 わたしたちは、夢を持ってたくましく成長できるよう、朝の読書に取組みます。
- 4 わたしたちは、読書の楽しさ、大切さ、心の豊かさを実感できるように取組みます。
- 5 わたしたちは、本との出会いを大切に、笑顔あふれる読書の町を目指します。

令和4年1月10日

福島県 矢祭町

○矢祭町読書活動の推進に関する条例

(令和3年12月10日条例第22号)

(目的)

第1条 この条例は、町民の読書活動の推進のための基本理念を定めるとともに、町、家庭、学校等（こども園、小学校、中学校をいう。以下同じ。）及び地域が取り組むべき読書活動等を明らかにすることにより、町民が図書にふれあう機会を増やし、町民一人一人の豊かな心を育み、人生をより深く生きる活力ある地域社会の実現を図ることを目的とする。

(基本理念)

第2条 町は、全国からの寄贈図書により設置された町の知的財産である「矢祭もったいない図書館」を拠点に次世代に誇れる郷土づくりを推進するため、子どもたちを始めとする町民が書物に親しみ、読書を通し、言葉を学び、感性を磨き、表現力、創造力等を高め、問題解決を書物と相談する気風を育てる風土を醸成するとともに、全国からの善意に感謝し、その想いを子々孫々に伝えることにより、家庭と地域に読書の輪が広がる「読書の町矢祭」を全国に向けて発信する。

(町の責務)

- 第3条 町は、前条に定める基本理念に基づき「読書の町矢祭」を宣言するとともに、読書を基盤とした豊かな人づくり、町づくりの推進を図るものとする。
- 2 町は、前項の取組を推進するにあたっては、家庭、学校等及び地域との連携を図り、一体となって読書活動の推進に努めるものとする。
 - 3 もったいない図書館及び町内各図書施設が地域における読書活動の拠点であることに鑑み、積極的な蔵書の充実を図るとともに、町民への情報提供や読書活動等を通じた町民の交流の機会の創出に努めるものとする。

(家庭における取組み)

第4条 家庭では、乳幼児期から読書に親しみ、本の読み聞かせや感想を話し合い、読書の楽しさを共有することにより、家庭のコミュニケーションを深め、親子で読書に親しむ時間を大切に定めるものとする。

(学校等における取組み)

- 第5条 学校等は、それぞれの特性並びに乳幼児、児童及び生徒の発達段階に応じた読書活動の推進を計画するとともに、もったいない図書館と学校図書館の積極的な連携を図り、乳幼児、児童及び生徒の読書活動機会の充実に取り組むものとする。
- 2 乳幼児、児童及び生徒が、心の豊かさを実感し、夢を持ってたくましく成長できるように、読み聞かせや朝の読書のための時間を日常的に確保するものとする。

(地域における取組み)

- 第6条 地域においては、毎月第3日曜日を「矢祭読書の日」と定め、「矢祭もったいない文庫」を開館することにより、読書を通じた地域のつながりを深めるとともに、読書の楽しさ、大切さ、心の豊かさを実感できる機会を提供するものとする。
- 2 民間団体及び事業者等は、町が実施する町民の読書活動の推進に関する施策及び

読書活動に関する取組に協力するよう努めるものとする。

(他の計画等との整合性の確保)

第7条 町が実施する町民の読書活動の推進に関する施策及び目標並びに家庭、学校等及び地域における読書活動に関する取組等については、子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)その他の法令に基づく読書活動に関する計画等との整合性の確保を図るものとする。

(読書推進月間及び矢祭子ども読書の日)

第8条 読書活動に関する町民の関心及び理解を深めるとともに、町民が積極的に読書活動に取り組む意欲を高めるため、毎年10月を町民の読書活動月間とする。

2 前項に加え、特に子どもの読書活動についての関心及び理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動に取り組む意欲を高めるため、毎年4月23日を「矢祭子ども読書の日」とする。

(財政上の措置等)

第9条 町は、町民の読書活動の推進に関する施策を実施するために必要な財政上の措置その他の措置を講ずるものとする。

(委任)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、町長が規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

○矢祭町読書活動の推進に関する規則

(令和3年12月10日規則第16号)

(目的)

第1条 この規則は、矢祭町読書活動の推進に関する条例第3条の規定に基づき、町の読書活動に関する推進についての具体的な取り組みについて必要な事項を定めることを目的とする。

(読書活動の具体的な取り組み)

第2条 町は、読書を基盤とした豊かな人づくり及び町づくりを推進するために別表第1により、矢祭もったいない図書館を拠点とした町民の読書活動の推進を図るものとする。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

別表第1(第2条関係)

具体的な取り組み
1 読書の推進について (1) 読書集会・講演会の実施に関すること (2) 研修会の開催に関すること ①先進地の視察研修 ②読書活動に関する研修 (3) 町内への情報提供に関すること ①広報宣伝のチラシ作成 ②町広報誌の広報活用 (4) 町外への情報発信に関すること ①町HP等の情報通信による広報 ②町外からの意見収集 (5) 読書通帳の推進 ①読書通帳(様式第1号(第3条関係)) (6) その他読書活動推進に関すること ①読書に関するコンテストの実施 ②読み聞かせ講座の実施 ③読書ボランティアの育成 ④移動図書館の運行
2 幼児の読書推進について (1) ブックスタートに関すること (2) 読み聞かせに関すること (3) 幼児の読書環境の整備に関すること

<p>(4) その他幼児の読書推進に関すること</p>
<p>3 児童及び生徒の読書推進について</p> <p>(1) 「朝読（あさどく）・家読（うちどく）」の推進に関すること</p> <p>(2) 児童生徒の読書環境整備に関すること</p> <p>①図書館の活用指導</p> <p>(3) 読書に関わる組織の構築と活動の推進に関すること</p> <p>①読書に関わる小・中・高児童生徒の横断的な組織の設立と活動の充実</p> <p>(4) その他児童生徒の読書推進に関すること</p> <p>①アンケート調査の実施</p> <p>②読み聞かせの実施</p>
<p>4 地域の読書推進について</p> <p>(1) 地域の読書活動の推進に関すること</p> <p>①読み聞かせ講座の実施</p> <p>②町内公民館等におけるもったいない文庫の充実</p> <p>③町内事業所との連携</p> <p>(2) 地域読書ボランティアの育成 に関すること</p>

様式第1 (第3条関係)

読書通帳



1 「矢祭もったいない文庫」概要

- 1 開設日 毎月第3日曜日
- 2 開設時間 9時～12時まで
- 3 開設場所 各地域の集会施設(P16 別表第1参照)
- 4 貸出冊数 一人10冊まで(*できるだけ多くの人に利用して頂くため。)
*借りるときは、サポーターが管理する「利用者名簿」に記入します。
*返すときは、一ヶ月後の第3日曜日に必ず借りた施設で返却します。
- 5 第3日曜日以外の貸出
*全て借りる本人が責任を持って「貸出名簿」に借りる日、返却を記入します。

2 「矢祭もったいない文庫」の運営について

- 1 各施設に「文庫サポーター」を1名配置
- 2 開館
①各行政区長から「鍵」を借りる。
②開館し、部屋の空気の入れ換えをします。
- 3 本の貸し出し
「矢祭もったいない文庫利用者名簿」貸出日、返却日を記入します。
- 4 来館者が来ないとき
館内の清掃、読書、休憩をしてください。
- 5 閉館 戸締りの確認後、施錠し、鍵を区長さんに返却します。

3 「矢祭もったいない文庫」事業所文庫 概要

- 1 開館日及び開館時間 事業所の営業日及び営業時間
- 2 貸出冊数及び貸出記録 「矢祭もったいない文庫」に準ずる。
- 3 設 置 事 業 所 12事業所

東館診療所、佐藤歯科医院、矢祭郵便局、石井郵便局 下関河内郵便局、福島銀行矢祭支店、白河信用金庫矢祭支店、ユーアイホーム、せせらぎ荘、櫻の苑、藤井ハイム矢祭、ユーパル矢祭、山村開発センター、矢祭町役場、コミュニティーサロンたたずみ、まちの駅やまつり、保健福祉センター、リフレッシュふるさとランド



(各地区 もったいない文庫)



(各事業所文庫)

矢祭もつたいない文庫一覧

番号	集会施設等名	所在地
1	黒助構造改善センター	中石井字黒助 38 番地
2	柵・舟見集会施設	中石井字上川原 234 番地 1
3	中石井多目的集会施設	中石井字館谷 57 番地 1
4	中石井公民館	中石井字小野沢 7 番地 2
5	下石井農村集落多目的共同利用施設	下石井字若宮 53 番地 1
6	戸塚構造改善センター	戸塚字山崎 124 番地 2
7	山野井・金沢地区多目的集会施設	東館字山野井 20 番地 1
8	館本集会施設	東館字柳下 29 番地
9	桃ノ木多目的集会所	東館字柳下 75 番地 1
10	宝坂構造改善センター	宝坂字中平 8 番地 1
11	高野谷地地区多目的集会施設	宝坂字鶴ヶ池 14 番地
12	追分地区多目的集会所	上関河内字馬渡戸 41 番地 7
13	小田川地区多目的集会施設	小田川字弥三郎内 10 番地 1
14	ニュータウン中山地区多目的集会施設	小田川字中山 27 番地 1
15	下関河内地区多目的集会施設	下関河内字田中前 64 番地 4
16	上関河内健康ふれあい館	上関河内字越蒔 39 番地
17	大垪地区多目的集会施設	大垪字町 57 番地 5
18	高山公民館	山下字山下 127 番地 3
19	高城構造改善センター	関岡字江戸塚 16 番地
20	天神沢公民館	関岡字天神沢 26 番地
21	矢祭町保健福祉館	内川字森下 16 番地
22	茗荷地区多目的集会施設	茗荷字茗荷 35 番地
23	中央団地集会所	東館字山野井 100 番地

「矢祭子ども司書」について

1. 「子ども司書」のはじまり

「子ども司書」制度は、平成21年6月に、全国で初めて矢祭町で始まりました。子どもたちが図書館や、司書の仕事の内容を学んで、友人や家族に読書のすばらしさ、大切さを伝えるリーダーになってもらうことが目的です。

現在では子ども司書制度は全国に広がりを見せ、各地の自治体や図書館が取り組んでいます。

2. 図書館司書の役割

「司書」という言葉は耳にしても、どんな資格でどんな仕事をするのかは、実はあまり知られていません。「司書」とは、図書館法に定められた資格を持った専門職員のことです。図書館の利用者と本との出会いを手助けすることが重要な役目です。主な仕事は、資料を集めて整理し、利用者が読みたいものをすぐに見つけられるようにすることです。また、図書館のお知らせを作ったり、おはなし会を開いたりもします。

そして、図書館司書は利用者の調べ物の相談や、本に関する質問にこたえることも大切な仕事です。そのためには、普段からさまざまな分野に興味を持つことが大切なのです。

3. 矢祭子ども司書講座

「矢祭子ども司書講座」では、地域をこえた多くの仲間と楽しい時間を共有し、将来の夢や希望をふくらませてほしいと願っています。同時に、社会が変化しようとも、自分から課題を見つけ、問題を解決しようとする資質や能力を育んでもらいたいと思っています。

4. 矢祭子ども司書の認定

決められた講座に12講座以上出席し、講座の感想文を提出した受講生は「矢祭子ども司書」の認定を受けることができ、矢祭もったいない図書館にその名前が掲示されます。

これまで認定を受けた矢祭子ども司書は256名。うち133名(矢祭中学生)が「子ども読書推進リーダー」として、矢祭もったいない図書館や学校などで活躍しています。

令和5年度は小学2年生から6年生、令和6年度は小学1年生から6年生の授業に講座を組み入れ、卒業時に全員の資格を認定します。

5. 子ども読書推進リーダー

認定を受けた受講生は、本と人との結びつきの手助けをするリーダーとして活動します。教育委員会・もったいない図書館・学校・地域などが実施する読書にかかわる事業に参加し、友達や家族・地域の人たちに対して読書の楽しさ、すばらしさを伝えます。読書のかかわる活動に参加する時には、手帳を持参して活動の記録を記入してもらいます。中学3年生までの多くの活動に協力しましょう。「奨励賞」が交付されます。

第18期「矢祭子ども司書」講座開催要項

1. 目的

- (1) 矢祭子ども司書講座は、「矢祭小学校を」を拠点に、すべての児童が楽しく本に親しみ、豊かな心と将来への夢や希望をふくらませ、言葉を学び、感性を磨き、表現力・創造力を豊かにし読書への関心を高める活動を推進する。
- (2) 矢祭子ども司書受講生として、図書館の仕事へ関心を持ち、司書についてのノウハウを修得し、友達や家族に読書のすばらしさを伝え、本と人との結びつきを手助けするリーダーの養成を図る。
- (3) 学校図書館と矢祭もったいない図書館が連携した取り組みにより、小学校卒業時に「子ども司書の認定証」を受けられるよう指導する。

2. 講座期間 令和8年4月15日(水)～ 令和9年2月 日()

3. 講座場所
- (1) 矢祭小学校
 - (2) 矢祭もったいない図書館
 - (3) 他町内施設

4. 講座内容 講座カリキュラムのとおり

5. 主催 矢祭町・矢祭町教育委員会

6. 指導者
- (1) 矢祭もったいない図書館
 - (2) 地域おこし協力隊
 - (3) 他ボランティア

7. 講座対象 矢祭小学校児童 1～6年生 全児童

8. 子ども司書の認定

(1) 単位の取得

1年生から小学校卒業までに、指定したカリキュラムの12講座以上を出席します。
なお、やむをえず欠席する場合には、下記の講座等に出席することで振り替えることができる。

- ・小学校開催の絵本教室(各学年年1回開催)
- ・図書館開催の俳句スクール、絵本教室、季節のおはなし会、その他図書館が開催する講座など。

(2) 修了検定 ビブリオバトル(書評合戦)によるおすすめの本の紹介を体験します。

(3) 認定

矢祭町教育委員会並びに図書館から「矢祭子ども司書認定証」を授与するとともに、未来への希望の証として「矢祭もったいない図書館」にその名前を掲示します。

9. その他

認定を受けた子ども司書による「子ども司書会議」を開催し、読書推進リーダーとしての活動について話し合います。

令和8年度矢祭子ども司書講座カリキュラム

学年	単位	内 容	時間	授業科目	講師
1年生	①	開講式			
	②	絵本教室（絵本作家の読み聞かせ）	1	国語	絵本作家
	③	絵本の読み聞かせ（1.2年生）	1	生活科	図書館職員
		（2年生の本の読み聞かせを聞こう）			
2年生	①	開講式			
	②	絵本教室（絵本作家の読み聞かせ）	1	国語	絵本作家
	③	もったいない図書館見学	1	生活科	図書館職員
		（貸出と返却）		（まちたんけん）	
	④	絵本の読み聞かせ①練習	1	生活科	図書館職員
	⑤	絵本の読み聞かせ②本番（1.2年生）	1	生活科	〃
3年生	⑥	図書館の本と本棚の仕組み	1	国語	〃
		（背ラベルのひみつ）			
	⑦	絵本教室（手づくり絵本づくり）	1	国語	絵本作家
	⑧	絵本教室（製本をしよう）	1	国語	図書館職員
4年生	⑨	本の紹介カードづくり	1	国語	〃
	⑩	新聞活用講座	1	国語	新聞社
		（感想文の書き方）			
	⑪	絵本教室（ブックトーク）	1	国語	JPIC読書アドバイザー
5年生	⑫	レファレンス	1	国語	図書館職員
	⑬	絵本教室（絵本の不思議）	1	国語	大学教授
	⑭	ビブリオバトル③（発表・認定式）	1	国語	図書館職員
6年生	⑮	ビブリオバトル①（導入）	1	国語	〃
	⑯	ビブリオバトル②（原稿づくり）	1	国語	〃
	⑰	ビブリオバトル③（発表・認定式）	1	国語	〃
	⑱	絵本教室（ブックトーク）	1	国語	JPIC読書アドバイザー
	⑲	読書についての子ども会議	1		図書館職員

読書推進リーダー活動要項

1, 目的

「矢祭子ども司書」講座を受講して認定を受けた受講生が、本と人との結びつきの手助けをするリーダーとして活動することを目的とする。

2, 活動

読書推進リーダーとして、学校・地域・教育委員会・もったいない図書館などが実施する読書にかかわる事業に参加し、友達や家族・地域の人たちに対して読書の楽しさやすばらしさを伝える活動です。

・具体的な活動

矢祭もったいない図書館でのおはなし会や、もったいない文庫、老人ホーム、こども園などでの読み聞かせや、おもしろい本やためになる本を紹介するポップを作成するなどして、まわりの人たちに本のすばらしさを伝えます。

活動した内容は「子ども司書(読書推進リーダー)証」に記録されます。

・リーダー会議の開催

毎年1回開催のリーダー会議の中で活動計画をたてます。

行事にすすんで参加をして、活動します。

3, 資格

矢祭子ども司書講座を受講し、子ども司書認定証を受けた受講生。

4, 期間

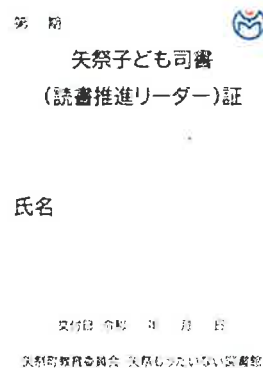
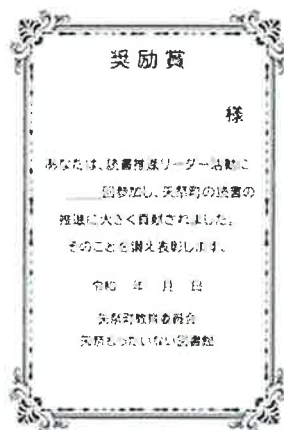
活動の期間は、矢祭子ども司書の認定を受けた時から中学3年生までの期間。

5, 活動の記録及び奨励賞の交付

第15期からの読書推進リーダー

リーダー証として「矢祭子ども司書(読書推進リーダー)証」及び福島民報社から「読書推進リーダー」缶バッジを交付します。

読書のかかわる活動に参加する時には、この手帳を持参して活動の記録を記入してもらいます。多くの活動に協力しましょう。



矢祭中 特設としよ部 春イベント ～本に触れるワークショップ～

令和8年3月8日(日) 13:00～15:00

会場:ヒガシダテ待合室



としよ部初の春イベント「としよ部春イベント」～本に触れるワークショップ～を部員の発案で開催いたしました。

この季節にぴったりのとしよ部生徒による絵本の読み聞かせを行いました。またワークショップでは、「手づくり缶バッジとしおりを作ってみよう」と、参加した子どもたちは、楽しそうに、自分だけのオリジナルの缶バッジとしおりを作っていました。

としよ部の生徒たちも積極的に参加した地域の子どもたちとコミュニケーションをとる姿が多く見られました。



10月「読書の日 出前おはなしかい」

令和7年10月19日(日) 10:00~11:00

第3日曜日「矢祭読書の日」を中心に、矢祭中特設としよ部が地域の人たちと、本とのふれあいを通して読書の楽しさや、すばらしさを伝え、町民との交流を図ることを目的に開催します。
10月のおはなしかいは、天神沢文庫、高野谷地文庫、追分文庫3ヶ所の文庫にて開催しました。
としよ部が選書した紙芝居、大型絵本の読み聞かせ、ポップカード作り、交流会を楽しみました。
ご参加いただきました地域の皆様には感謝申し上げます。

天神沢文庫



高野谷地文庫



追分文庫



第18回 矢祭もったいない図書館

手づくり絵本 コンクール

募集要項

「自然・友情・心の大切さ」と、
夢と希望がいっぱいつまった手づくり絵本。
をテーマに全国から絵本作品を募集し、
子ども読書のまち・矢祭を発信します。



募集期間

令和8年7月18日(水)～9月20日(日) 当日消印有効
★持参の場合は9月20日(日)17時まで

募集部門

- 一般の部
(高校生以上)
- 家族の部
(中学生以下の幼児・児童・生徒が、
家族と一緒に制作したもの)

応募資格

- アマチュアの方ならどなたでも。
★他団体のコンクールに入賞し、作品集や電子書籍として
公開されたことがない方。
- 自費出版・共同出版・電子出版(矢祭もったいない図書館手づくり
絵本コンクール入賞作品を除く)を含め、国内外を問わず絵本と出
版した経験のない方。
 - 個人応募の他、グループによる共同作品、学生が授業内で制作した
作品の応募も可能です。

応募方法

- ① 応募票A(事務用)、B(作品貼付用)に必要な事項を記入し
て下さい。
- ・応募票Aの「作品の権利関係等に対する承諾書」の欄は
必ず記名押印のこと。
- ・応募票Aの「応募作品のネット公開について」の注意事項を
必ずお読みください。該当する方はご応募ができません。
- ・家族の部応募票の年齢・学年の欄は制作時ではなく応募時の
年齢・学年を記入のこと。
- ② 合作の場合は、代表者の氏名、住所等を記入し、
合作担当部分(絵・文・製本)に担当者名を明記してください。
- ③ 「家族の部」は、幼児・児童・生徒の制作過程での関わり方を、
応募票に明記してください。
- ④ 応募票Bは作品裏表紙のみかえしに貼付の上、
応募票Aを添えて郵送、もしくは持参してください。
- ⑤ 作品送付後、メール、もしくはお電話にて「作品名」、
郵便番号、住所、代表者名、電話番号をお知らせください。
(E-mail:mottainai@aa.wakwak.com)
- ⑥ 応募の際の経費は応募者の負担となります。

応募規定

- ① 提出作品についての原本の公開、及びインターネット等における
画像公開(下書きや制作途中の様子)も含め、自作未発表
また他のコンクールに応募していない、1年以内に制作が完了されたもの。
- ② 応募点数は、1人または1グループにつき1作品。
(グループの場合は、グループ全員が応募したとみなします)
- ③ 「家族の部」は、幼児・児童及び家族で完成させた作品とする。
- ④ 応募作品が公開されることを許諾するもの。
- ⑤ 絵本の大きさは、見開きでA2サイズ1での大きさとす。裏紙サイズ含む。
- ⑥ 本文は、中表紙から30ページ以内とし、制作年月日を記載した作品。
- ⑦ 製本方法は自由とし、表紙をつけ、製本されたものとする。
ただし多数の人の読覧にたえるものであること。
(ラミネート加工をしていないもの)
- ⑧ 素材・画材・技法は自由とする。
(コンピュータグラフィックス等のデジタル作品も可能)
- ⑨ 素材を含め、権利関係及び事実関係に問題を生じないこと。
- ⑩ 以下の作品は受付できません。
・政治、宗教に関わる作品 ・公序良俗に反する作品
・CD・DVD等のデータによる応募作品
・製本されていない作品(簡易な綴りをかめる)
・ISBNコード(書籍JANコード)、定価が記載されている作品。
・生成AIを利用して作られた作品。

審査

- 審査会を3回実施し入賞作品を決定します。
- 第1次審査会(10月上旬)・・・町民審査委員により開催します。
 - 第2次審査会(10月中旬)・・・有識者数名により開催します。
 - 最終審査会(10月下旬)・・・3名の審査委員により開催します。
- 矢祭町長、ノンフィクション作家・柳田将男さん、絵本作家・あべ弘士さん。
★結果は、選考から入賞者にもみ通知するとともに
「江戸やまのつう」矢祭もったいない図書館ホームページ、
「矢祭町Facebook」等に掲載、及び報道機関に発表します。

作品展示(応募作品はすべて展示します)

- 日 時:令和8年10月下旬から12月上旬 午前9時30分～午後6時
会 場:矢祭もったいない図書館
★応募作品はすべて展示します。
★12月12日(土)は表彰状授与式会場「ユーバル矢祭」にて受賞作品のみ展示予定。

表彰状授与式

- 日 時:令和8年12月12日(土)予定
会 場:矢祭町「ユーバル矢祭」

作品返却と記念品について

- ① 応募作品は表彰状授与式終了後(令和9年1月中旬頃)に通知します。
返却の際の費用は主催者が負担します。
また、すべての応募者に参加記念品を贈呈します。
- ② 作品返却のため、受付後、住所等に変更が生じたときには、
お手数でも住所変更届をご記入の上、
矢祭もったいない図書館まで、ご連絡下さい。

権利関係・その他

- ① 受賞作品の複製及び配布権利は無償で矢祭町に帰属するものとします。
- ② 矢祭町は、応募作品及び作品の一部、作者名、住所(市町村名)等を、
広報誌、ホームページ等に無償で掲載することができるとします。
- ③ 最終受賞作品は製本し、受賞者が在住する都道府県立図書館
および市区町村立図書館、矢祭町内小中学校、図書館等に配付します。
その際、作品の一部に加筆訂正することがあります。
- ④ 著作権等に関する規定に反する行為が発覚した場合は、
賞を取り消す場合があります。
- ⑤ 入賞作品については、コンクール終了後に作品が返却されても、
内容の変更や他のコンクールへの出品及びインターネット等においての
公開は、著作権法(出版権)により3年以内ではできません。
- ⑥ 矢祭町は作品の選考中・展示中にあった紛失・破損等について
責任を負いません。
- ⑦ 応募の際記入された個人情報、応募作品の受付、管理、
審査結果通知の目的以外には使用しません。
- ⑧ 応募作品が公開されることを許諾するもの。
- ⑨ 素材を含め、権利関係及び事実関係に問題を生じないこと。

手づくり絵本コンクール作品集

第1回 平成21年度

一般の部；最優秀賞「シチューをもらったかえりみち」 家族の部；最優秀賞「まほちゃん空をとぶ」
 特別賞 「ずっと わすれない」 特別賞「てのなか なあに？」



第2回 平成22年度

一般の部；最優秀賞「チクチクおばあちゃん」 家族の部；最優秀賞「あめって いいね」



第3回 平成23年度

一般の部；最優秀賞「かげねこ」 特別賞「一本の松」 家族の部；最優秀賞「つながるつながる」



第4回 平成24年度

一般の部；最優秀賞「サンタクロースへの手紙」 家族の部；最優秀賞「とかげくんとぼく」
 特別賞（金澤昭特別賞）「こしょぐりばんばあ」



第5回 平成25年度

一般の部；最優秀賞「シーサイドライナー」 家族の部；最優秀賞「ありがとうあくとう丸」



第6回 平成26年度

一般の部；最優秀賞「わらいたくないワライカワセミ」 家族の部；最優秀賞「よくばりじいさんのかみさま」



第7回 平成27年度

一般の部；最優秀賞「たねのきもち」

家族の部；最優秀賞「おじいちゃんのとまと」



第8回 平成28年度

一般の部；最優秀賞「はるから なつへ」 家族の部；最優秀賞「おばあちゃんのかさふく」



第9回 平成29年度

一般の部；最優秀賞
「みんなニコニコころ村」



家族の部；最優秀賞
「おなかのなかで」



特別賞
「ダジャレとどうふけん」



第10回 平成30年度

一般の部；最優秀賞
「75歳のわたしに
ゆめがやってきましたの」



家族の部；最優秀賞
「私の育てた黒アゲハ」



特別賞
「ぎゅうちゃんこきょうへ
かえる」



第11回 令和元年度

一般の部；最優秀賞 (2作品)
「さぶとかた目のおおかみ」



特別賞 (家族の部)

「まって まって」



「なつのくだもの なつのやさい」



家族の部；最優秀賞
「みんなだいすき」



第12回 令和2年度

一般の部：最優秀賞

「ぼくは…」



特別奨励賞

矢祭町長特別奨励賞

棚倉小学校 4年学年 62名



家族の部：最優秀賞

「さかなそだつかわ」



特別賞（家族の部）

「こんにやくちゃん」



柳田邦男特別奨励賞

「ながーいおうち」



あべ弘士特別奨励賞

「8月6日のあさ」



第13回 令和3年度

一般の部：最優秀賞

「やまのれい坊」



家族の部：最優秀賞

「オコジョ」



特別賞（一般の部）

「ひろ君さきちゃんみそ作り」



第14回 令和4年度

一般の部：最優秀賞

「たっちゃんのランドセルかっちゃんのランドセル」



家族の部：最優秀賞

「虫たちのフシギな世界」



特別賞（一般の部）

「わたしの家のねこ くら」



第15回 令和5年度

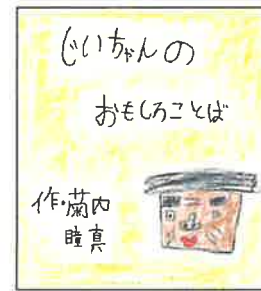
一般の部：最優秀賞
「ハクトウワシと風」



家族の部：最優秀賞
「ぼくのインコ」



特別賞（一般の部）
「じいちゃんのおもしろことば」



特別奨励賞
矢祭町長特別奨励賞

「まほうのあめ」



「テニスのかいぞく」



第16回 令和6年度

一般の部：最優秀賞
「こまったネコちゃん」



家族の部：最優秀賞
「ルナのおるすばん！！」



特別賞奨励賞（家族の部）
「来らっしょ 矢祭」



第17回 令和7年度

一般の部・最優秀賞
「ターくんのおいもほり」



家族の部・最優秀賞
「お庭はレストラン」



特別賞① 矢祭町に関する
作品「ヒガシダテ待会室」



特別賞② 環境に関する作品
「色をほしがった鳥」



手づくり絵本コンクール応募作品数及び入賞作品集

回数	応募作品数		合計
第1回	一般の部	132	167
	家族の部	35	
第2回	一般の部	116	133
	家族の部	17	
第3回	一般の部	40	74
	家族の部	34	
第4回	一般の部	43	84
	家族の部	41	
第5回	一般の部	57	104
	家族の部	47	
第6回	一般の部	64	178
	家族の部	114	
第7回	一般の部	82	171
	家族の部	89	
第8回	一般の部	106	204
	家族の部	98	
第9回	一般の部	97	199
	家族の部	102	
第10回	一般の部	92	171
	家族の部	79	
第11回	一般の部	75	170
	家族の部	95	
第12回	一般の部	110	251
	家族の部	141	
第13回	一般の部	59	268
	家族の部	209	
第14回	一般の部	56	246
	家族の部	190	
第15回	一般の部	109	334
	家族の部	225	
第16回	一般の部	56	188
	家族の部	132	
第17回	一般の部	50	156
	家族の部	106	
合計	一般の部	1,182	3,098
	家族の部	1,326	

図書館利用案内

1 開館時間

平 日…………… 9:30～18:00

土・日・祝日……………9:30～18:00

2 休館日

月 曜 日 ……………月曜日:祝日開館、火曜日:休館

年末年始……………12月29日～1月3日まで

3 利用できる人

町民、町外(県内、県外)の全国の方に貸し出ます。

4 利用カードの申請手続き

・利用する方は、「利用者カード申込書」に記入し、「図書貸し出しカード」の交付を受けて下さい。(身分証明書を提示が必要です。)

・図書貸し出しカードを紛失または、住所・氏名等に変更があった時には、「利用カード再発行・変更届」の手続きをしてください。

5 貸出業務

(1)個人貸出 一人10冊……14日以内

(2)団体貸出(学校、読書サークル、その他の団体)

学 校……………200冊

貸出期間……………2ヶ月

手続き……………団体の代表の登録手続

6 レファレンスサービス

図書館利用の仕方、読みたい本を探すとき、資料を探すとき

7 予約、リクエスト

利用したい図書類が貸し出されているときは、利用できます。

8 相互貸借

利用したい図書が当館にない場合、県立図書館と連携して資料の貸出を受けて、貸し出します。

9 おはなしかいの開催

☆季節のおはなしかい(出前おはなしかい)

毎月第3日曜日 10:00～11:00 会場:もったいない文庫

町民の方を対象に、各地域のもったいない文庫において

季節に合わせた出前おはなしかい

絵本の読み聞かせとミニワークショップにより参加者との交流を図ります。

子ども司書も参加します。

☆あかちゃんおはなしかい

毎月第1木曜日 10:00～12:00 会場:特別書庫

3歳以下の乳幼児とご家族に向けて、館内においておはなしかい

お話と絵本の読み聞かせ、育児についての本の紹介

☆プレママ・プレパパおはなしかい(あかちゃんおはなしかいと同時開催)

毎月第1木曜日 10:00～12:00 会場:特別書庫

出産を控えた方とご家族に向けてのおはなしかい

出産前ブックスタート事業により、参加者に絵本を1冊プレゼント

お話と絵本の読み聞かせ、育児についての本の紹介

あかちゃんおはなしかいと一緒で開催。

☆大人のためのおはなしかい

毎月第3木曜日 10:00～12:00 会場:特別書庫

日頃の煩わしさから離れて、静かな穏やかな雰囲気の中で読書の楽しさを実感、

生きた言葉の表現づくりのきっかけとなる大人のためのおはなしかい

10 ブックスタート事業

☆ 6 か月・10 か月児乳児健康相談会に開催

会場:保健福祉センター

指定された日(詳しくは、もったいない図書館へお問合せください。)

もったいない図書館 絵本紹介ガイドブック

「はじめてであうえほん こころ育てのひみつ こどもおとなもえほんでわかる」 配布

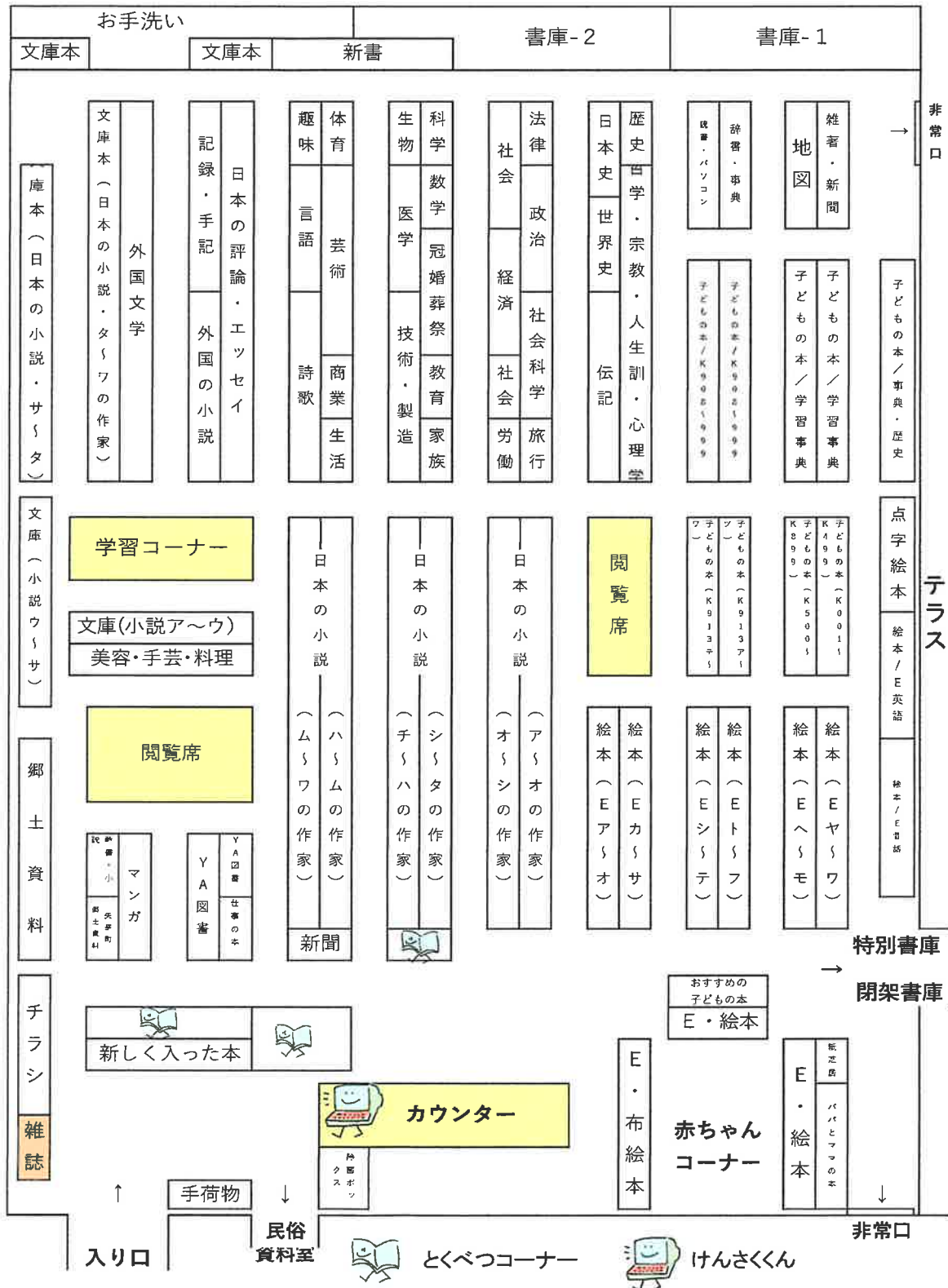
絵本を1冊プレゼント

☆出生前ブックスタート

母子手帳持参者に絵本1冊プレゼント



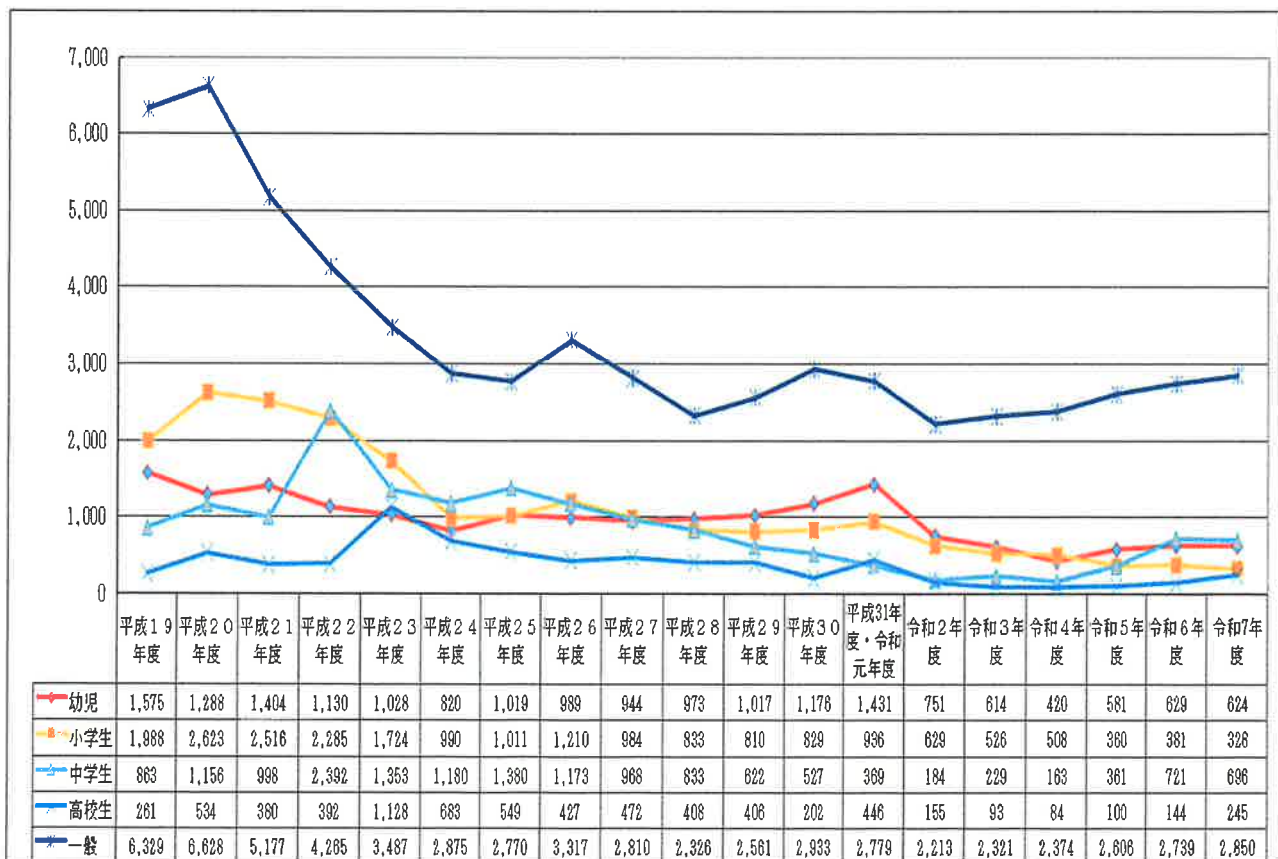
館内図



図書館 来館者人数

	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
平成18年度(1月～3月)	542	1,049	324	61	2,041	4,017
平成19年度	1,575	1,988	863	261	6,329	11,016
平成20年度	1,288	2,623	1,156	534	6,628	12,229
平成21年度	1,404	2,516	998	380	5,177	10,475
平成22年度	1,130	2,285	2,392	392	4,265	10,464
平成23年度	1,028	1,724	1,353	1,128	3,487	8,720
平成24年度	820	990	1,180	683	2,875	6,548
平成25年度	1,019	1,011	1,380	549	2,770	6,729
平成26年度	989	1,210	1,173	427	3,317	7,116
平成27年度	944	984	968	472	2,810	6,178
平成28年度	973	833	833	408	2,326	5,373
平成29年度	1,017	810	622	406	2,561	5,416
平成30年度	1,176	829	527	202	2,933	5,667
平成31年度・令和元年度	1,431	936	369	446	2,779	5,961
令和2年度	751	629	184	155	2,213	3,932
令和3年度	614	526	229	93	2,321	3,783
令和4年度	420	508	163	84	2,374	3,549
令和5年度	581	360	361	100	2,606	4,008
令和6年度	629	381	721	144	2,739	4,614
令和7年度	624	328	696	245	2,850	4,743
合計	18,955	22,192	15,796	7,170	62,551	130,538

来館者数



＜福島・矢祭町＞新設図書館の本、寄贈呼び掛け

全国の自治体に先駆け「合併しない宣言」をした福島県矢祭町は、本の購入予算ゼロでの図書館建設を目指し、全国から本を募集することを明らかにした。町の所有図書7000冊以外は寄贈に頼る。専門家は「ユニークな試み」と評価。根本良一町長は「本が死蔵されているのはもったいない。町の自立の助けともなる」と協力を呼び掛けている。

町には現在図書館がない。昨年実施した町民アンケートで、図書館建設の要望が多かったため検討を始めた。建物は老朽化した武道場を1億2500万円で改築し、約3万6000冊分のスペースを設ける予定だ。しかし、町に新たに図書を購入する財源はなく、根本町長が寄贈を提案した。01年10月の「合併しない宣言」以降、町を訪れた約600の自治体などにも協力を求める。

町によると、本の種類は問わず、送料は送り主に負担してもらおう。廃棄せざるをえない場合は町が処理する。寄贈者には町から礼状を送るほか、図書館に名前を明示して感謝の意を表す。

筑波大大学院の山本順一教授(図書館情報メディア専攻)は「非常に珍しい。このケースでは、文献検索データを作るなどの手順が必要だが、動向は注目に値する」と話している。

本の送り先は、〒963—5192 矢祭町小田川春田16の1、矢祭町山村開発センター。問い合わせは同町自立課(0247・46・4575)。【和泉清充】

(毎日新聞) - 7月18日3時5分更新



佐藤久福県立図書館長、斗ヶ原秀敏毎日新聞社編纂委員、町内小・中学校児童生徒、小・中学校校長、図書館開設準備委員会委員により、くす玉を割り開館を祝う

名称は

「矢祭もったいない図書館」



「こんな本があるかな」児童書読んで本を手にする親子



絵本・児童書のコーナーは書架の高さ本でいっぱい

まちまことに図書館ができた!

全国から
市民と住みか
の力

図書館利用のご案内

- 所在地 矢祭町大字東館字沼田25
- 電話 ☎0247-46-4646
- 図書館の開館時間
午前9時から午後6時まで
- 休館日
毎週月曜日(祝日は除く) 年末年始(12/29~1/3)
- 利用対象者 町民に限らず町外の方も利用できます。

開架書庫		蔵書数
一般書架	19,300冊	
文庫本	2,000冊	
児童書架	2,700冊	
絵本架	4,000冊	
	8,000冊	
閉架書庫	36,000冊	
合計		

全国からの寄贈本を収蔵する待望の図書館が誕生。1月14日、竣工式と開館式が行われ、同16日から図書館の貸し出しが開始されました。

町では自立のまちづくりのため、限られた財政面への配慮と、もったいない運動の取り組みを併せて、柔剣道場を改修し建設費を抑えるとともに、図書館を購入せず全国に本の寄贈を呼びかけ、町民の手による手づくりの図書館づくりを進めてきました。

いわばこの図書館は、物を大切にすることを学びながら、心豊かに未来を描き、たくさんの夢を育むことのできる、まちづくりのシンボル。

新しい文化を発信する拠点として、この場所に子どもからお年寄りまで世代を超えた多くの人々が集い、本に親しみ、町民相互の心のふれあいをはかっていたきたいと願うものです。

どうぞ一度足を運ばれ、その想いと温もりを感じてみてください。



感謝状贈呈者
(敬称略)

斑目嘉子・佐藤洋一・菊池祥子・鈴木和男・斉藤守保・金澤佳子・下重淳子・菊池麻衣・益子茂代・佐川象雄・金子博子・郡司千代子・寺島ヨネ・藤井隆之・深谷典子・金澤 昭・古塚光子・草野ケイ子・金谷なほみ・深谷良太郎・高澤啓子・樽子正代・佐川典子・齋藤賢一郎・川瑞枝・長田幸子・高野儀一・郡司浩子・綿川直子・小室敏江・古盛洋子・片野眞理子・片野祐子・鈴木敏之・吉田米子・斎藤サヨ子・金澤博信・鈴木敏世・佐藤マキ子・齋藤佳子・佐藤守男・鈴木敏之・吉田米子・斎藤サヨ子・福島県立図書館・矢祭町商工会女性部・矢祭町商工会青年部・矢祭町建設部会・矢祭町スナンプ会・鈴木運送株式会社・備須賀川東部運送・柴田裕則

この図書館は皆さんの協力があつたから...

感謝をし、落成を祝う

式には、小学生から一般までの町民ら約2000人が参加。はじめに、佐藤長久福島県立図書館長、斗ヶ澤秀俊毎日新聞社福島支店長、町内小・中学校児童生徒、小・中学校長、図書館開設準備委員会委員により、紅白のくす玉を割って落成を祝いました。

館内での開館式では、協力者に対する感謝状の贈呈、齋藤守保開設準備委員長、根本町長のあいさつ、毎日新聞

社福島支店長による「もったいない運動の起こり」と題する講話などが行われました。

根本町長の言葉

「皆さんのお力で、新たな礎となる一歩を記した。大量生産、大量消費、大量廃棄の時代は、いづれ行き詰る。時代に求められる文化を、この図書館から発信したい」



森林環境交付金事業により県産杉材により整備された床板と腰板

※ 森林環境交付金事業費

森林環境交付金事業とは、福島県の豊かな森林を県民共有の財産として保全し、健全な状態で次世代へ引き継ぐことを目的に、平成18年4月1日から導入された森林環境税を財源として、森林整備の推進に必要なものに使用されるものです。町では図書館建設にあたり、この事業目的にそって、県産杉材を床板、腰板に使用し、その原材料費について県から交付を受けました。

木の良さを温もりある空間で体感していただき、大切な森林への関心も高めていただきたいと思います。

全国の方々よりの善意

(1月18日現在)

- 寄贈本 3,976冊
- 支援金 16人の方より 54万円



図書館の閲覧コーナー

図書貸し出し第1号

白坂彩夏ちゃん・悠夏ちゃん
「彩夏が行きたいというので、アンパンマン、しらゆきひめなどの絵本あわせて6冊借りました。児童、幼児向けの本が多いので、どんどん利用していきたいと思えます」(お母さんの優子さん)



広く取られた空間と受付



本のまち「やまつり」として
時代に求められる文化を

併設された民俗資料室



開館初日図書館を訪れた小・中・高生(上・右)「読みたい本がいっぱいある。これから楽しみ」「今までは買って読んでいたので、図書館ができたのは嬉しい」

図書館整備事業概要

事業名	地域開放型交流施設整備事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 図書館 432,000㎡ 展示ホール 65,52㎡ 通路 20,12㎡ 床面積合計 517,64㎡
その他付属工事として公民館改修、民俗資料室及び管理人室解体を含む	1億1,942万9,730円
図書事業費	1億1,004万円
設計監理委託費	504万円
※森林環境交付金事業費	434万9,730円

ボランティアア力 図書館づくり 180日の軌跡

毎日のように図書館の整理に追われた日々
自分の大切な時間を犠牲にした
それでも貴重な時間を共有することができた

想いは一つだった
図書館の日を
迎えるために図書館をつくること

一冊一冊丁寧に、懸命に選り分けた分類作業



昨年7月18日、図書館開設に向けて、町公募のメンバー44人（途中から1人を加えて45人）により準備委員会が発足しました。

同日付け、毎日新聞に図書館寄贈を呼びかける記事が掲載される。またたく間に山村開発センターは善意の寄贈本で埋まりました。送られてくる本の種類は多種多様、どんな分類をすればよいのか、訳もわからず委員は茫然と遠くを見つめていました。ほとんどが専門知識のない中で、まさに暗中模索のスタートでした。

県立図書館蔵書司の指導を仰ぎながらより良い方法を模索、とりあえずタイトル順・音順に並べよう、児童書、百科事典、全集、文庫本などジャンル毎に仕分けしようとするのを確認し、来る日も来る日も図書館の分類作業に追われました。

寄贈の呼びかけには各マスコミも追随し、全国に広がりを見せる善意に対し、思うように進まない分類作業。可立ちと真夏の作業に

全国の善意に 応えて

委員の疲労はピークに達し、体調をくずした人もいました。それどころか



全国から寄せられた善意、添えられたメッセージを何よりの励みとして、決して後を向くことはありませんでした。

この実情を知るや、町工会や建設部会など多くの団体、個人が協力を申し出てきました。大勢の手で次々と整理分類される本。人海戦術のすかさずをあらためて

知らされた機会でした。このとき「自分達だけではない。多くの人に支えられている」と、委員は心を強くすることができたに違いありません。そして「町に自分達の手で図書館をつくらう」を合言葉に、作業は一段と加速することが





笑顔で本を並べる下重さん(右)と藤川さん

できました。
一冊一冊蔵書印が押され、ブック
ポケットの装着、背ラベルが貼られ、
パソコンによるデータ入力が手際よ
く進められると、ジャンル毎
の本が詰められ完成品は書か
れたダンボール箱が、一つま
た一つと、積み重ねられてい
く。委員の顔には、笑顔が見
えていました。
そして、12月20日、完成し
た図書館に図書を搬入するこ
とができました。準備委員
委員の下重さん、藤川さんら
これまでの苦労などなかった
かのように、満面の笑顔を備え付
けの書架に本を並べました。何も言わ

この図書館はまち づくりのモデル

ずとも、これまで共有した時間がお
互いを認め合ってきました。
半年に及ぶ期間、心一つに活動を
続けてきた努力の結晶のうちに、
図書館はオープンを迎えま
した。1月14日開館式の席
上、齋藤守保委員長は「こ
の作業を通じ町役場の皆様
と、私どもを含む多くのボ
ランティアとの親睦がはか
られたことは、今後のまち
づくりに大いに役立つもの
と確信いたします。この図
書館は、まちづくりの一つ
のモデルだと思います。今
日まで、行政にあまり関係のなかつ
た人達が「こんなことで役に立つな

らば」と一生懸命作業に尽くされて
ました。何事も行政任せではなく、
住民が自分のできることをやってい
くことが、まちづくりの第一歩だと



休けない時間に委員をなごませる準備委員長

「ご苦労様」「大分はかどったよ」「民
「まさ、よろしくね」彼らは微塵も屈
せず、「明るく楽しく」と、周りを後
を向くことにはありませんでした。
これからは受け継
がれていくもので
す。
準備委員の皆さ
ん、この半年間を
どうぞ誇りにして
ください。本当に
ありがとうございます
ました。

声・こえ 開設準備を振り返って 準備委員より



図書館開設準備委員の皆さん(開館式)

- ボランティアに参加した半年間は、たいへんだったが夢中におかれて楽しかった。
- たくさんの人と知り合いになっただけでなく、仲間が増えた。ボランティアに参加したとき、やつとつ小まわり立ち上った。ボランティアの元気が、だくさんのほじいちゃん、おぼあちゃんに溢れてもらった。
- 町の人が期待しているのはこれから。図書館の理想の形を構築していきたい。
- 息をやりなげながらボランティアに参加したが、花実していた。
- ボランティアの皆様から、人と人とのつよあいを教えさされた。
- 町民が繋がるコミュニティセンターになれればいいと思う。
- 図書館に採れないおぼあちゃん、おぼあちゃんの名を借りてくれることができるようになったらいいと思う。そのようなボランティアがあつてもよいのではなないか。移動図書館にも期待している。
- 全国にはこんなにも本を蔵んでいる人がいるものかと感心させられた。

わたしのイチおし この一冊

この詩を日本語に翻訳された新井高の写真詩集「千の風になって」は、小さくも美しく、後半には作者の思考や世界観を分析され、想像でラフストーリーを添えられました。
私達を字を失い、悲しみの日々の中でこの詩に出会いました。命を敬い、死を敬うことの大切さ、この詩は日々多くの人の心の中にあつて、生きるための大きな支えとなることだろう。
人間愛と、生き方の大切さをあらためて論じました一冊です。

図書館への想い
寄贈されました沢山の本のほとんどは、読みた本、必要とされて個人が求められた本です。時代時代のベストセラーが多いことが何よりも嬉しい、有り難く思います。

「千の風になって」
CDブック
新井高
日本語詩 新井高
出版社 講談社

町図書館開設準備委員
片野祝子さん
(下関河内字宮脇)

「千の風になって」この詩の一部を紹介いたします。
私のお墓の前で はかないでください
そこに私はいません 眠って安らかにいます
千の風に 千の風になって
あの大きな空を 吹きわたっています
秋には死になって 如にふりそぐ
冬はタイヤのように きらめく雪になる
朝は星になって あなたを言霊めさせる
夜は星になって あなたを見守る

この「千の風になって」は、作者不明のわずか12行の英語の短詩ですが、死者からのメッセージ」となつて、世界中の人々の悲しみの心をいやし、生きる力を与えています。
ニューヨーク同時多発テロ事件で、父親を亡くした11歳の少女は1年目の追悼集会で、この英語詩を朗読されたことを知りました。

矢祭町地域おこし協力隊設置事業

本の交換スタンド



矢祭町で

いつでもだれでも

本と出会えるスタンド、

はじまります。

本のこうかんスタンドとは、
矢祭町のさまざまなスポットで
読み終えた本を持ち寄り、
自由に持って帰ったり、
物々交換ができる本棚です。
矢祭町民でも、町外の方でも、
となたでもご利用いただけます。



本のこうかんスタンド 配置先

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 矢祭町役場 | 7 ヒガシダテ待会室 |
| 2 矢祭郵便局 | 8 白河信用金庫矢祭支店 |
| 3 石井郵便局 | 9 福島銀行矢祭支店 |
| 4 下関河内郵便局 | 10 そうだ商店 |
| 5 珈琲香坊 | 11 矢祭もったいない図書館 |
| 6 丸安魚店 | |

本のこうかんスタンド設置ガイド



1. 本のこうかんスタンドのルール

- ・本のこうかんスタンドとは、本の物々交換ができる本棚です。
- ・矢祭町の町民の方をメインに、読み終わった本を自由に持ってきたり、持って帰ったりすることができます。
- ・本のジャンルは問わず、「絵本・小説・図鑑・雑誌・文庫・新書」など自由に交換できます。
- ・矢祭町内のお店や施設を対象に、設置のご相談が可能です。（町外に設置することはできません）

2. 注意するポイント

- ・一度本棚に提供した本は、自由に利用者が交換するものとなるため、返品・交換・弁償等は一切行いません。
- ・交換することができないものは以下の通りです。
 - 破損や汚れ・匂いなど、状態の悪いもの
 - 成人向けのもの（子どもが見るのにふさわしくないもの）
 - 新聞、フリーペーパー、リーフレット、CD・DVDなど、通常の書籍ではないものこれらにあたるものが本棚にあった場合、設置先ご担当者の方の判断で撤去・処分をお願いいたします。判断が難しい場合、図書館までお問い合わせください。
- ・何らかの理由でスタンドを終了したい・撤去したい時は矢祭もったいない図書館（0247-46-4646）までご連絡ください。

もったいない図書館の歌

作詞・作曲 芳賀 徳也

mf

1. ほん よ も う ほん よ も う も っ た い な い と し ゃ か ん で
2. ほん かり よ う ほん かり よ う も っ た い な い と し か ん か ら

mp

ほん よ も う ほん よ も う た の し ー く す ご す た め
ほん かり よ う ほん かり よ う た し あ わ せ に す ご す た め

mf

あ な た と わ た し の せ こ いろ が ひ ろ が る よ
あ な と わ た し の こ いろ の ハ ー モ ニ ー

mf

ほん よ も う ほん よ も う も っ た い な い と し ゃ か ん で
ほん かり よ う ほん かり よ う も っ た い な い と し か ん か ら

もったいない図書館の歌

作詞・作曲 芳賀徳也

一 本読もう 本読もう

もったいない図書館で

本読もう 本読もう

楽しく過ごすため

あなたとわたしの

世界が広がるよ

本読もう 本読もう

もったいない図書館で

二 本借りよう 本借りよう

もったいない図書館から

本借りよう 本借りよう

幸せに過ごすため

あなたとわたしの

心のハーモニー

本借りよう 本借りよう

もったいない図書館から



実施主体

矢祭町、矢祭町教育委員会、矢祭中学校、矢祭小学校、やまつりこども園、
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会、矢祭町図書館協議会、
矢祭町学校運営協議会、矢祭もったいない図書館

デザイン 絵本作家 かとーゆーこさん（矢祭町ふるさと応援大使）



《町の花 — つつじ》

矢祭町民は、自由を重んじ、

つつじのような誠実さで尽くします。

《町の木 — 赤松》・《町の鳥 — 山鳩》